広報 みぶ
№403
4年 11月

総合産業祭

11月3日、町総合運動場で開かれ1万人以上の人出で賑いました。

発行 壬生町役場　編集 総務部企画財政課 毎月15日発行　〒321-02栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号☎0282-82-1234

自治功労者表彰

11名の功績をたたえる

清水町長を囲み受賞者のみなさん

自治功労者表彰式が11月2日、役場正庁で受賞者並びに来賓多数の出席のもと行われました。

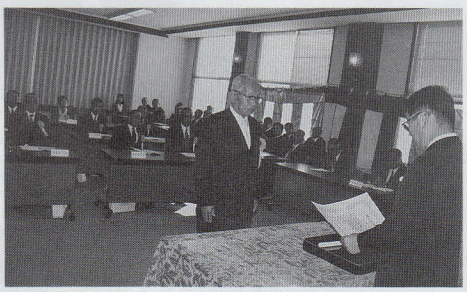
自治功労の表彰は、永年にわたり本町発展に寄与された方をはじめ、他の模範となる行為をされた方など、行政、産業、教育、その他各方面において功績を残された方々に対して、その功績をたたえるとともに広く町民に知っていただくため、毎年行っているものです。

今年は、特別功労賞1名、功労賞9名、そして徳行賞1名の計11名の方々が表彰され、清水町長から表彰状と記章及び記念品が贈られました。

受賞者（写真右から）

田村　正規
鈴木　利一
清水町長
田邉　武
國生　俊道
鈴木元四郎

入江　正治
太田　芳明
日永　正巳
渡邊　英雄
伊藤　仁一



表彰式のようす

表彰（敬称略）

特別功労賞

田邉　武
通町18番48号

功労賞

◎20年以上条例または規則で設置した非常勤特別職にあって功績があったと認められる者

國生　俊道
本丸一丁目1番30号

鈴木　利一
中央町12番1号

田村　正規
本丸二丁目15番31号

◎通算により、消防団団員・国民年金協力委員の職にあった者

鈴木元四郎
安塚1862番地

◎20年以上町職員として勤務し、成績優れ功労があったと認められる年齢50歳以上の者

伊藤　仁一
本丸二丁目8番16号

入江　正治
上稲葉1209番地6

太田　芳明
あけぼの町3番9号

日永　正巳
表町1番17号

渡邊　英雄
至宝一丁目4番23号

徳行賞

◎町に1件100万円以上の金品を寄付した者。ただし受益者の当該受益に関する寄付を除く

山崎　信三
東京都目黒区碑文谷二丁目14番13号

秋の叙勲

平成4年度秋の叙勲受章者が11月3日、政府から発表され、本町からは榆木　恒氏（七ッ石本郷）が教育で勲五等双光旭日章を、荒川重利氏（上稲葉下町）が統計調査で勲六等瑞宝章をそれぞれ受章されました。

勲五等双光旭日章

榆木　恒氏（71歳）
七ッ石790番地

榆木氏は、栃木県立青年学校教員養成所を昭和16年卒業後、下都賀郡三鴨村立青年学校教諭となられ、昭和17年から3年間の軍隊生活をはさみ、昭和54年に退職されるまでの34年間、教職に情熱を捧げられました。

その間、昭和34年に羽生田小教頭、昭和45年から石橋町立細谷小学校校長、稲葉中学校校長、壬生中学校校長を歴任。誠実な人柄と人間性あふれる教育方針は、多くの生徒や教育関係者に慕われました。

退職後は、栃木県青少年指導員として下都賀教育事務所に1年間勤務されたほか、壬生町史編さん委員会委員、同調査員及び同専門調査員、壬生町民生委員推薦委員、壬生町文化財保護審議委員として活躍。昭和59年には、壬生町教育委員会教育長に就任。1期4年にわたり本町教育の充実に尽力されました。

その後、七ッ石本郷の自治会長を2年つとめ、現在、壬生町文化財保護審議会委員長、壬生町生涯学習推進準備委員会委員長、壬生町民生委員推薦委員として活躍されています。

勲六等瑞宝章

荒川重利氏（81歳）
上稲葉1790番地

荒川氏は、昭和32年に地元の小藪土地改良区事務に所就き、合併後、壬生町土地改良区連絡協議会に勤められました。

その間、昭和32年から平成3年まで事業所統計調査員（12回）工業統計調査（30回）、商業統計調査（15回）、国勢調査（7回）に携わるなど、34年の長きにわたり統計調査員として活躍されました。氏の温厚で誠実な人柄に加えて統計の社会に果たす役割を理解され、調査に際して親切丁寧な応対により、統計の意義を周知させたことも大きな功績の一つです。昭和59年の工業統計調査で、通商産業大臣表彰を受けられています。

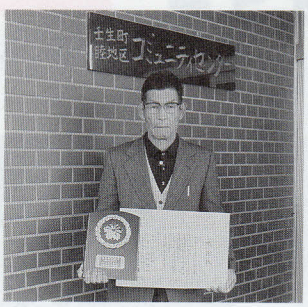
また、昭和55年から6年間上稲葉下町松寿会会長、昭和61年から1年間同下町自治会長をつとめられたほか、昭和55年より壬生町社会福祉協議会理事、昭和58年より壬生町遺族会会長、そして昭和62年より壬生町統計推進協議会会長として活躍、現在に至っています。

防犯県民のつどいで表彰

秋の防犯運動（10月11日～20日）を控えて、暴力や犯罪のない県土づくりを推進していこうと第17回防犯県民のつどいが、栃木県警察本部及び㈳栃木県防犯協会主催で10月2日、栃木県総合文化センターで開かれました。その席上、本町からは次の団体及び個人の方々が功労表彰されました。

防犯功労団体

おもちゃのまち防犯組合
（神山好平組合長）



（表彰理由）昭和51年から防犯組合を組織し、16年間にわたり活動。特に、春、秋、年末年始の防犯運動に際して、防犯の事前（事故）防止に尽力された。

優良単位防犯団体

落合自治会
（斉藤　晃自治会長）

（表彰理由）地域防犯活動を積極的に推進し、安全な住み良い生活環境づくりに多大な功績をあげられた。

優良防犯連絡所

栃木　勝（藤井前宿坪）
塚本　一美（上通町）
松島　勝美（緑町一丁目）
上野　武敏（幸町三丁目）
荒川　誠一（上稲葉上町）

（表彰理由）長年防犯連絡所として地域住民と警察のパイプ役となり、地域の防犯に寄与された。

健康ふくしまつり

に3,500人

明日からといわずはじめよう健康づくり

第7回町健康ふくしまつりが10月25日、町保健福祉センターで行われ、約3、500人の親子連れやお年寄りが会場を訪れて健康と福祉の多彩な催しを満喫していました。

屋内では、健診や健康・福祉相談、各種展示・紹介コーナーをはじめ、運動チェック、アルコールパッチテスト、赤ちゃんのびのび発育コーナーや生きがい講座作品展示、紙芝居、指人形などが催されました。また、屋外では、献血、模擬店・販売コーナー、刃物とぎなどが設けられたほか、盲導犬や車イス、手づくりおもちゃの体験コーナーなどが設けられました。

屋外の特設ステージでは、保健関係者の自作自演の寸劇「きんさん骨々病院へいく」や手話劇、大声コンテスト、ウルトラ福祉クイズ、そして特捜エクシードラフトショーが行われ、とても賑わっていました。健康ウォークには約400人が参加し各自の体力に合わせて4kmと6kmのコースを楽しまれました。

第3回レクリエーション大会が総合運動場で同時開催され、ターゲットバードゴルフやソフトバレーボール、各種レクリエーションなどにたくさんの方が参加し、1日楽しく過ごされていました。

特設ステージのエクシードラフトショーは、多くの親子で賑わいました

保健・福祉事業功労者を表彰

町の保健と福祉向上のため尽力され、その功績が顕著な個人（15名）及び団体（1団体）を健康ふくしまつり会場で表彰し、賞状と記念品が贈られました。

表彰状贈呈

健康部門

【嘱託医師】菱田一吉（幸町一）
松本幸三（栄町）　上野忠之（城内）
【保健委員】石山博（幸町二）
【母子保健推進員】織田フク（上田）　亀田愛子（北小林）
【栄養士】福田静江（上長田）

福祉部門

至宝町献血会（代表　石村孝子）
橋本タイ（母子寡婦福祉会、至宝町南）　荻原久子（王生町婦人会会長、城南）　高橋田鶴（王生町婦人会副会長、城東町）　秋山セン（王生町婦人会、城南）　内堀雪子（王生町婦人会、東下台）
安原　昌（虹の会、六美町南一）

感謝状贈呈

宇野モト（しもつけ荘、安塚中央）
朝日テル子（　〃　　〃　）

健康標語

小学校の部（6年生）

■最優秀賞　睦小　臼井　裕毅
『健康は　みんながつくれる　大きな宝』

■優秀賞　睦小　三浦　健
『こつこつと　毎日やろうよ　健康づくり』
稲葉小　鯉沼　成暢
『大きい手　小さい手　みんないっしょに　健康づくり』

■佳作　青木祐二（羽小）、簗島万美（安小）、野口大輔（安小）
市井真介（睦小）　平野有希（睦小）、高山奈津美（睦小）、齊藤大輔（北小）、本間芙美枝（東小）、今村理依（東小）、鈴木美波（東小）、板子美香（稲小）、後藤光子（王小）、榎本倫子（王小）、山川賢一（王小）

健康ふくしまつり

多彩な催し

わたし発見ボランティア

↑健康ウォーク4・6kmコースに心地よい汗を流しました

↓各種レクリエーションに楽しい1日を過しました

屋内の多彩な催しに多くの方が訪れ盛況でした

福祉標語

小学校の部（6年生）

■最優秀賞 藤井小 山川 浩一
『未来の福祉は ぼくたち わたしたちの心がけ』

■優秀賞 安塚小 瀬尾 卓
『助け合い 笑顔で暮らす 大きな福祉』

壬生北小 粂川 哲
『広めよう ふれあう心と やさしい目』

■佳 作 落合靖彦（羽小）、刀川未央（北小）、倉井隆史（藤小）、岩原 毅（東小）、若林由香（東小）、阿久津哲也（東小）、澤田真紀（睦小）、吉川有紀（睦小）、栄松輝久（睦小）、高野智史（壬小）、山中賢治（壬小）、葭葉奈津子（壬小）、甫坂真由美（壬小）、白川光従（壬小）

中学校の部（1年生）

■最優秀賞（該当なし）

■優秀賞 壬生中 梁島 義寛
『健康は 心の憲法第一条』

■佳 作〈南犬中〉黒子幸子、野澤さゆり、篠原和代、梅山佐知子、斉藤美琴、秋中祐美、桑原華子〈壬生中〉北見沙織、並木沙智、其田吉弘、赤木透央、近藤早苗、高山千晶

一般の部

■最優秀賞（該当なし）

■優秀賞（県営壬）北川 敬治
『検診は 長寿のための一里塚』

■佳 作 矢内幸子（安塚三）、佐藤良夫（至宝町南）、奥村トシ（上通町）、杉浦金吉（宇都宮市）内田利江（栃木市）

中学校の部（1年生）

■最優秀賞 壬生中 關口智恵子
『さしだして あげて下さい あなたの手』

■優秀賞 壬生中 佐藤 隆道
『助けあおう 進んでやろう ボランティア』

南犬飼中 大多和 瞳
『心から愛の一言 やさしい瞳』

■佳 作〈壬生中〉川俣知代、谷原庸子、田村佳子、横倉由佳、清水淳子、佐藤 良、〈南犬飼中〉寺内夏子、粉間美佳、中川賢一、田口久美子、佐藤貴道

一般の部

■最優秀賞 国谷二 渡辺 清雄
『ふくしの芽 みんなで伸ばそう 育てよう』

■優秀賞 至宝町北 鵜飼 イネ
『かよいあう 心でひろげる ふくしの輪』

65歳になったとき……

老齢基礎年金

●年金を受けるために必要な期間とは

① 国民年金の保険料を納めた期間
② 国民年金の保険料の免除をうけた期間
③ 任意加入できる人が加入しなかった期間など（合算対象期間）
④ 昭和36年４月以後の厚生年金保険（船員を含む）の被保険者期間または共済組合の組合員期間

これらを合計して、原則として25年以上の期間が必要です。しかし、加入していても保険料を納めなかった期間はのぞかれます。

●老齢基礎年金の年金額（平成４年度価格）

年金額＝725,300円（月額60,441円）

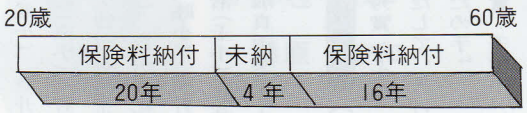
●老齢基礎年金の計算式（平成４年度価格）

$$725{,}300円 \times \frac{(保険料納付済月数)+(保険料免除月数)\times\frac{1}{3}}{加入可能年数\times 12}$$

●老齢基礎年金の計算例

■国民年金の加入期間のみの場合

1．昭和16年４月２日以降生まれで、保険料をすべて納めた人の年金額…… 725,300円
2．昭和９年６月生まれで、加入可能年数（33年）すべて保険料を納めた人の年金額 …… 725,300円
3．昭和16年４月２日以降生まれで、保険料の納め忘れのある人



年金額は 725,300円× $\frac{240月+192月}{480月}$ ＝652,800円

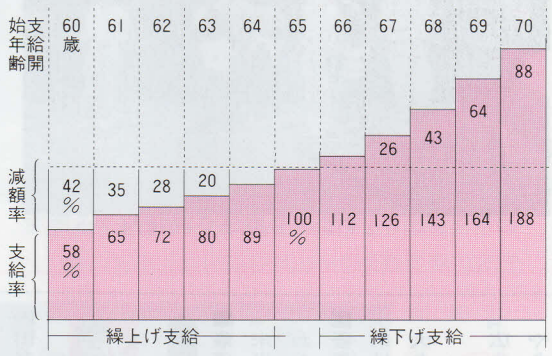
●老齢基礎年金の繰上げ支給と繰下げ支給

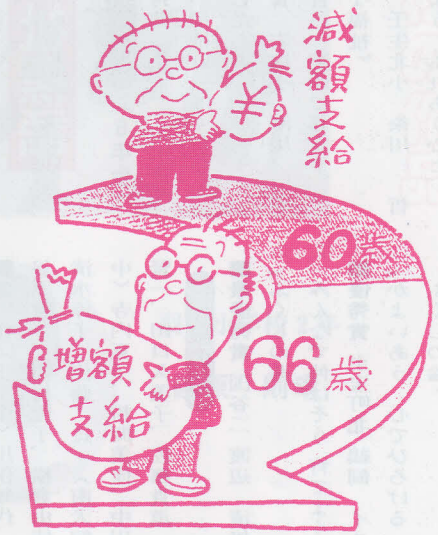
老齢基礎年金の受給開始年齢は65歳ですが、60歳以上65歳未満の間に繰上げて、減額された年金を受けることができます。

また66歳以後、希望するときに繰下げて、増額された年金を受けることもできます。

●老齢基礎年金の繰上げ支給による減額率と繰下げによる増額率

（生涯この率で支給されますのでご注意ください。）





11月は国民年金制度推進月間です

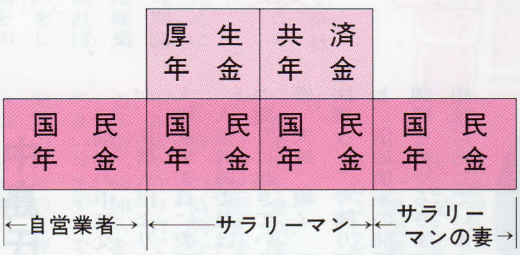
「明日のあなたを考えて…　年金はあなたが主人公です」

国民年金には全員が加入！

（日本国内に住む20歳以上60歳未満の人）

自営業の人はもちろん、サラリーマンやその奥さんも国民年金の加入者となります。

このようなしくみになっています



※厚生年金、共済年金は上乗せして支給されます。

平成３年４月１日からは今まで加入するしないは任意だった学生も、20歳になったらすべて加入しなければならなくなりました。

保険料は20歳～60歳になるまで納めます（40年間）

老齢基礎年金を受けるためには、この間最低25年以上の保険料を納めること（保険料免除期間及びカラ期間を含む）が必要です。

40年間納めて満額の年金額となりますが、それ以上納めても年金額は増えません。

国民年金相談所を開設します

みなさんの年金について、次のとおり相談を行いますので、お気軽におでかけ下さい。

なお、保険料の徴収窓口（過年度分）も同時に開設します。

◎日　　時　　12月21日　午前10時～午後２時
◎会　　場　　役場第２会議室（２階）
◎問合せ先　　町住民課

資格期間及び加入可能年数早見表

生年月日	受給資格期間	加入可能年数
大正15年４月２日～昭和２年４月１日	21年	25年
昭和２年４月２日～昭和３年４月１日	22年	26年
昭和３年４月２日～昭和４年４月１日	23年	27年
昭和４年４月２日～昭和５年４月１日	24年	28年
昭和５年４月２日～昭和６年４月１日	25年	29年
昭和６年４月２日～昭和７年４月１日		30年
昭和７年４月２日～昭和８年４月１日		31年
昭和８年４月２日～昭和９年４月１日		32年
昭和９年４月２日～昭和10年４月１日		33年
昭和10年４月２日～昭和11年４月１日		34年
昭和11年４月２日～昭和12年４月１日		35年
昭和12年４月２日～昭和13年４月１日		36年
昭和13年４月２日～昭和14年４月１日		37年
昭和14年４月２日～昭和15年４月１日		38年
昭和15年４月２日～昭和16年４月１日		39年
昭和16年４月２日以後		40年

※受給資格期間とは、老齢基礎年金を受けるための最低必要な期間。

保険料が納められない人は

免除制度があります。ご相談ください。免除の手続きをしておきますと、年金を受ける権利が保障されます。

ただし、免除を受けた期間の年金額は、通常の$\frac{1}{3}$となります。

国際化社会にふさわしい人権意識を育てよう

人権週間

12月4日～10日

人権とは、人間が人として本来もっている権利で、すべての人が等しく幸せな生活を営むための基本的な権利です。

私たちは、だれもが、幸福で生きがいのある生活をしたいと願っています。そのためには、自分の人権ばかりを主張するのではなく、他人の人権を尊重し、お互いに相手の立場を考えて、豊かな人間関係をつくる必要があります。

私たちは、お互いに思いやりの精神を忘れず、人権を尊重しあって、毎日を楽しく暮らしていきたいものです。

人権週間は、国際連合の世界人権宣言採択の日である12月10日を「人権デー」と定めたことを受けて、わが国では毎年12月4日～10日までの一週間を人権週間として、人権意識の普及高揚に努めているものです。

中島氏が人権擁護委員に

中島文一郎氏

下稲葉の中嶋文一郎氏(64歳)が、法務大臣より10月15日付で人権擁護委員に委嘱されました。

人権擁護委員は、わたしたちの周りに起きている家庭内(結婚、夫婦、親子、離婚、相続、扶養など)や隣り近所のもめごと、借地借家の問題など、人間関係をめぐるさまざまな問題の相談に応じています。そのほか、人権思想の普及高揚を図るため講演会・映画会などの開催や広報車による巡回を実施して啓発に努め、明るい社会づくりに大きく貢献されています。

本町には現在、新しく人権擁護委員になられた中島氏のほか、4名の方が活躍されています。

相談は無料で、むずかしい手続きもいりません。また、相談の内容についての秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

人権相談(毎月3回)

第一木曜日	保健福祉センター
第二木曜日	稲葉地区公民館
第三木曜日	南犬飼地区公民館

時間はいずれも午前10時～正午

人権擁護委員

田辺　武(舟　町)☎(82)0553
橋本　茂(六美北)☎(82)0472
栗原林蔵(城　内)☎(82)7455
松野　幹(安塚一)☎(86)0059
中嶋文一郎(原坪)☎(82)5808

同和問題講演会を開催

県では、12月4日から10日までの「人権週間」を「同和対策推進県民運動強調週間」と定め、各種の啓発活動を実施します。その一環として、同和問題についての正しい理解と認識を深めるため、同和問題講演会を開催します。

◇**日時**　12月3日(木)
午後1時～3時30分

◇**会場**　栃木県総合文化センター

◇**内容**

◎同和問題啓発ポスター図案入賞者表彰

◎同和対策推進県民運動強調月間人権に関する作文入賞者表彰及び作品発表

◎講演会
演題　「目の高さで考える」
講師　映画監督　小栗康平氏

◇**入場料**　無料

◇**問合せ先**
栃木県県民生活部同和対策課
☎0286(23)3026

農業者年金のはなし

その2

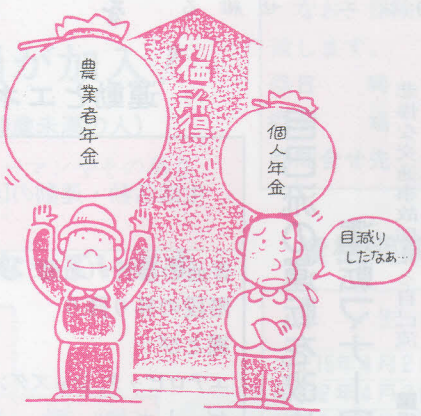
〈農業者年金の特色〉

前回、農業者年金の特色として二つ（1、経営移譲年金、2、経営移譲年金への国庫助成）について上げましたが、そのほか次のような特色があります。

3、年金額は、物価の上昇、所得の上昇にともない引き上げられます。つまり、民間の個人年金は、こうした措置が取られないので物価が上昇しても年金額はそのままですが、農業者年金は、10年後の物価が今の2倍になれば、年金額も2倍になり目減りしません。

4、年金額は、保険料を納めた期間の長さ（月数）で決まります。ですから、加入期間が長いほど年金額は多くなります。また、早く加入するほど有利で、35歳までは通常保険料の3割引きの安い保険料となっています。

例えば、30歳で加入の場合、物価上昇や所得上昇を前提に試算しますと、支払い保険料総額1、496万円ですが、受取年金総額は7、377万円にもなります。



5、農業をしながら途中で会社勤めに出ても、年金がもらえます。

農業者年金をもらうためには60歳までに20年の加入期間が必要ですが、いったん農業者年金に加入した後であれば、農業をしながら会社勤めをしている期間のうち5年間を20年の加入期間に含めることができます。途中で会社勤めをするかもしれないとためらっている方は、先に農業者年金に加入すれば安心です。

――このように、農業者年金制度はほかの公的年金にはない魅力あるものとなっています。

しかし残念なことに、このような農業者年金に加入する資格をもちながら、まだ加入手続きをとらない方がいます。

現在若い農業後継者の方々も、いずれは必ず老後を迎えるわけですが、年金を必要とする年になってからでは遅いのです。自分自身の手で老後の生活を守り、また、親の世代を支えるためにも、早めに農業者年金へ加入されることをおすすめします。

農業者年金制度は、農業者の方だけが恩恵を受けることができる唯一の公的な年金制度です。本制度を守り育てるため、農業者年金への加入をさらに推進してまいりますので、今後とも農業者の方々のご理解とご協力をお願いします。

戦後、旧ソ連邦またはモンゴル国に強制抑留されたみなさんへ

お済みでしょうか、慰労品のご請求

平和祈念事業特別基金では、戦後、旧ソ連邦またはモンゴル国の地域において強制抑留された方、または、そのご遺族に内閣総理大臣名の慰労品（書状・銀杯）を贈呈しております。

また、これらの方々のうち年金恩給や公務員の共済年金などを受給されていない方には、慰労金（10万円）が支給されます。

請求期限は平成5年3月31日までです。

当基金は、いわゆる恩給欠格者、戦後強制抑留者及び引揚者等に対して慰籍事業を行っている総理府所管の認可法人です。

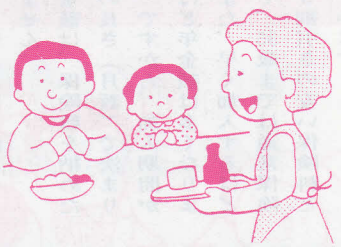
◎請求書類は、県・役場の窓口にも置いてあります。

請求及びお問い合せ先〒112 東京都文京区大塚5 3-13

平和祈念事業特別基金 業務第二課

☎03(3945)4703

食事と健康 ㊸



よく体を動かし 食事にゆとりを

運動不足は体力を低下させるだけでなく、体の成長や健康維持の上からも好ましくありません。

運動不足の状態のまま摂取エネルギーを減らして収支バランスをとるより、積極的に体を動かし、それに見合ったエネルギーを摂取してバランスをとることが大切です。

それでは、どの程度の運動が適当でしょうか。その人の生活内容により異なりますが、1日200キロカロリーを運動で消費することを目安にするとよいでしょう。

運動とエネルギー消費量

生活活動・運動の区分	生活活動または運動の時間とエネルギー消費量			
	10分	20分	30分	60分
普通の歩行（通勤、買物）			70	140
階段の昇り降り	50	100		
縄とび	90	180		
エアロビック、ジャズダンス			120	240
ゲートボール				130
キャッチボール			90	180
バレーボール			80	160
テニス				360
バドミントン			180	360
卓球			140	280
ジョギング（160m／分）		180	270	540
水泳（ゆっくり）			150	300

自己流の運転を改めませんか
運転マナー実技講習会

悲惨な交通事故防止と自己流になってしまった運転を改め基本を再確認し、正しい交通ルールとマナーを習慣づけてもらうため、教習車による運転マナー実技講習会を実施しています。

あなたの運転技術・マナーを初心にかえって、見直してみませんか。

多数の方が受講されますようお願いいたします。

■**場　所**　壬生自動車学校
■**対 象 者**　町内在住又は在勤の方
■**対象車種**　○大型・普通（AT・MT）○自動二輪・原付
■**講習時間**　1回（50分）
■**費　用**　無　料（町負担）
■**問合わせ**　くわしくは、総務課消防交通係（☎(82)1234、内線208）へ

定期的な公園清掃が認められ
斉藤　晃さんが知事表彰

第10回栃木県花と緑と公園のつどい（県及び県民公園福祉会主催）の記念式典が10月24日、県立博物館で行われ、席上、本町から次の方々が知事表彰されました。

◇栃木県みどりと公園の愛護功労者知事表彰
　斉藤　晃（落合）
（表彰理由）平成元年より国谷第一児童公園の清掃を毎週定期的に行い、公園の美化・保全に大きく貢献された。

◇小学生公園絵画展知事表彰
【佳作】
　倉井　雅人（藤井小3年）
　山口　真美（壬生東小5年）

長年の美化活動により表彰を受けた斉藤さん

消防自動車を更新

町では、平成元年度より町総合振興計画に基づき、消防自動車の更新を行っています。

今年は、第2分団第1部に配車しました。

カメラスケッチ

赤い羽根街頭募金

赤い羽根共同募金が始まった10月１日、壬生高ＪＲＣの生徒５人と町社会福祉協議会、町婦人会、石川町議会議長ら20人が壬生駅前で街頭募金をしました。

老人スポーツ大会

町内の68単位老人クラブ員約 700人が参加して10月８日、町総合運動場で開催。「けつあつ測定」や「新婚旅行」などの競技にハッスルプレーしていました。

ゆうがおマラソンソフトボール大会

町ソフトボール協会（塩沢　弘協会長）の創立10周年記念の12時間ソフトボール大会が10月10日、町総合運動場で行われ、町内32チームが熱戦を展開。先攻のゆうがおチームが126対120で辛勝しました。

歩け歩け大会

第23回歩け歩け大会が10月10日、総合運動場を発着点として行われ、朝のすがすがしい田園コース４kmを約150人がウオーキングしました。

最高齢参加者の竹沢幸一さん(89)

安塚南部

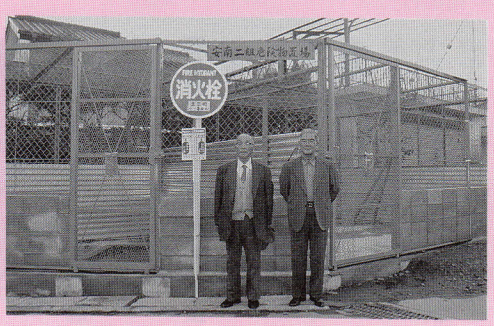
不燃ゴミステーションを新設

全会員が協力しゴミの分別を推進

安塚南部自治会（粂川正光自治会長）では、このほど、うさぎの公園北にりっぱな不燃ゴミステーションを新設しました。

今まで同自治会では、不燃ゴミステーションはありましたが、民家が少ない道路沿いの土地を借りていたため、無分別に捨てられて山積みとなっていたり、ビンなどが散乱していたりして通行する自転車や自動車のタイヤがパンクして困るという苦情が寄せられていました。

そこで、正・副自治会長さん（自治会長・保健委員を兼務）が中心となって、総会や役員会で協議を重ね、新しく不燃ゴミステーションをつくろうと話がまとまりました。場所は地下に雨水浸透施設がある空地に建てるように町から了解を得るとともに、各世帯（アパートや借家は家主）から一戸2、500円を集め、一部町から助成を受けて設置されました。



りっぱにできた不燃ごみステーション

使用に際しては、各種看板を新たに作り、収集日当日は班長さんに交替でゴミ管理をしていただくとともに、全会員にはステーション利用のチラシを全戸配布してゴミ処理の意識の高揚を図った結果、ゴミの分別が徹底され、ゴミ一つ落ちていないきれいなゴミステーションとなっています。

い広場

お達者カップル

⑤⓪ 羽生田中央

篠原 寛太さん(78) ミヨさん(76) 夫妻

寛太さんのお宅は、去年9月に内孫が結婚され、三夫婦がそろっている町内でも数少ない家庭です。子どもたちからいいおじいちゃんと言われるので長生きしてよかったという寛太さん

青春スケッチ ⑳

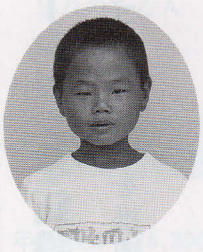
コミュニケーションを大切に

稲葉下馬木　**小久保美智子**さん

会社では、銀行業務のプログラムの開発を担当「コミュニケーションを大切にしています」という美智子さん。

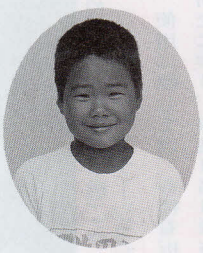
球技が得意な彼女は、プロ野球の巨人ファン。特に、「石毛選手の度胸のよさが好き」だそうで、今度は、テニスにチャレンジしてみたいと話す明るく活動的なお嬢さんです。

私の作品



羽生田小学校 2 年

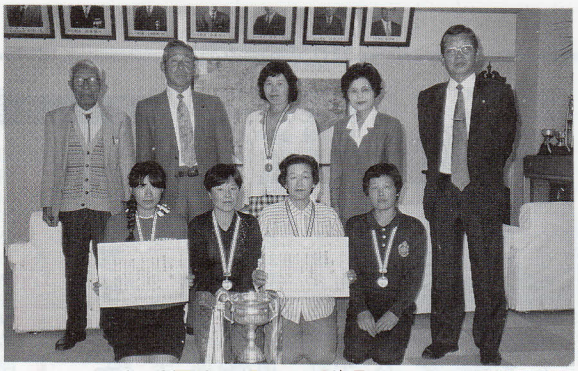
篠原　敏和



羽田小学校 2 年

篠原　則幸

ふれあ



優勝・準優勝に輝いた壬生町チーム

団体で1・2位を独占

壬生町女性ドライバークラブチーム

第13回栃木地区女性ドライバー安全運転競技大会が10月5日、栃木市の栃木県南自動車学校で開かれ、栃木市など1市4町から11チームが参加しました。

本町からは、町女性ドライバークラブ（八見イハ会長）の2チーム6名が出場、団体の部で1・2位を独占するなど、すばらしい成績を収めました。

なお、個人成績の上位者は、10月25日の県大会にも出場し、健闘しました。

本町の成績は、次のとおりです。（敬称略）

▼団体の部

優　勝　壬生町Aチーム
　大島　丈　石村　セツ子
　二瓶　美恵子

準優勝　壬生町Bチーム
　寺崎　ミチ子　石沢　裕子
　杉山　幸子

▼個人の部

第三位　大島　丈

ですが、ひい孫（内孫の子）の顔を見るまでは生きたいとも話していました。

今までにいろいろありましたが、その中で一番苦労したことは戦地に行ったことで、また、一番うれしかったのは金鵄勲章（勲8等功7等）をいただいたことだといいます。

昭和12年8月に召集を受けた寛太さんは、宇都宮59連隊第9中隊として北支事変に従軍。永定川や大冊川、大名城の戦いなどでは、多くの戦友を失う激戦を体験されました。その後、手のひらを銃撃されて帰還しましたが、負傷したので帰ってこられたと話していました。

奥さんのミヨさんは、助谷の粂川家（7人兄弟の3女）に生まれ、21歳の時に結婚、今年で55年目になりました。その間、4人のお子さんを育てられ、今は家事の手伝いをする毎日といいます。

ミヨさんは食べ物の好き嫌いがないそうですが、寛太さんは甘いものとしょっぱいものが好きで、家族の者に食べ過ぎると言われるそうです。

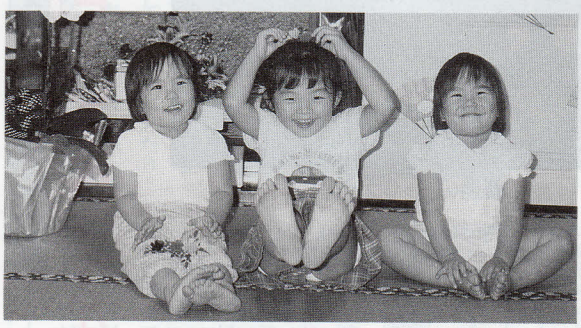
チビッ子アルバム

英晃（ひであき）ちゃん（3歳・2男）
（父）伏見　忠さん
（母）〃　美智子さん（壬生駅東町団地）

お母さんから一言

やさしくて、たくましい男の子になってね。

朋子（ともこ）ちゃん（2歳・2女）
侑子（ゆうこ）ちゃん（4歳・長女）
育子（いくこ）ちゃん（2歳・3女）



（父）岩田　孝　男さん
（母）〃　紀　子さん（六美町南一）

お母さんから一言

三姉妹優しく、和を重んじる子に育ってほしい。

舟町壮年会

30年ぶりに随神門清掃

雄琴神社の表門を半日がかり

舟町壮年会（平石勝男会長、48人）は10月25日、地元にある雄琴神社随神門を30年ぶりに清掃しました。

随神門は、今から約250年前の寛政年間（一七八九―一八〇一年）に建造された表門で、町指定文化財になっています。門の内側には矢大神と左大神の像が安置され、30年前にこの2体の像を塗り替えて以来、清掃されずにきました。

参拝者から随神門が汚いとの声を聞いた平石会長さんたちは、毎月1回行っている神社清掃の時に随神門の清掃を行おうと壮年部の役員会で協議し、黒川正邦宮司と同神社清掃をしている舟町老人会とも話し合ってこの日の実施となりました。

参加した約40名の会員は、半日かけて門の大格子をはずして2つの像を表に出し、隅ずみまでていねいに清掃を行ったほか、門の近くの御神木の周りもきれいにしました。

また、同壮年会は、来春、あじさいを参道に、桜の苗を境内に植えようと企画しています。

舟町壮年会のみなさん

石橋地区消火競技大会

刀川・渡辺チームが準優勝

第16回石橋地区消火競技大会が10月1日、石橋町大光寺公園で開かれ、町婦人防火クラブ（亀田愛子会長）から出場した3チームの中で、刀川キミ（指揮者）・渡辺幸子（消火者）チームが見事、準優勝に輝きました。

この大会は、消火技術の向上と万一火災などの発生に際して自らの力で消火に努め、被害を最少限度にとどめるために、毎年行われているものです。

ナイターサッカー大会

F・Cデペッツが優勝

第8回壬生町ナイターサッカー大会が10月1日から15日までの8日間にわたって行われ、町内外から参加した25チームが熱戦を繰り広げました。

試合結果

優勝　F・Cデペッツ
準優勝　日立栃エレ
第三位　壬生FC
個人賞
得点王〈6点〉田浦　太（日立栃エレ）

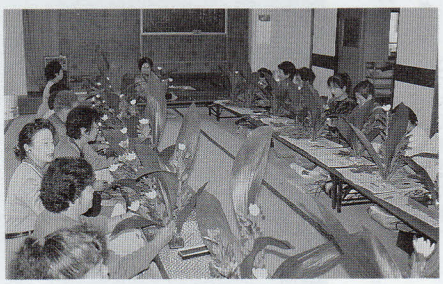
優勝のF・Cデペッツ

生花教室を開く

町母子寡婦福祉会（吉田サク江会長）では、毎月第1・3土曜日、東雲荘において、生花教室を開催しています。

この教室は、会員相互の親睦と自己資質の錬磨及び向上を図ろうと、9月から講師に人見イハ先生を招き行っているものです。

会員で参加希望の方は、会長又は事務局（町福祉課☎82-1234）へお問い合せください。



友情を深め愛郷心を養う

青少年健全育成剣道錬成大会行われる

壬生少年剣道教室育成会（鯉沼洋樹会長）主催の第22回青少年健全育成剣道錬成大会が10月18日、嘉陽が丘ふれあい広場体育館で開かれ、町内外から約230人の少年剣士が参加、白熱した好試合を展開しました。

この大会は、昭和46年に精忠神社奉納武道大会として始められましたが、剣を通して友情を深め合うとともに郷土の歴史を勉強し愛郷心を養おうと、現大会名に改められました。開会式では、三上義市師範（壬生剣）が、壬生の歴史を話したほか、他の模範となる良い行いをした黒子孝佳君（壬生剣）に徳行賞が贈られました。

創立15周年を祝う

壬生町消費者友の会

壬生町消費者友の会（菱田素子会長）では10月24日、壬生中央公民館において、創立15周年記念式典を行いました。

同友の会は、賢い消費者を目ざし、昭和53年6月に会員89名で発足。以来、賢い消費者づくりとしての研修と啓蒙に努め、現在、140名の会員を中心に環境汚染防止にと牛乳パックや空缶回収、リフォームなどの運動を積極的に展開しています。

式典は、町民の歌の斉唱に始まり、菱田会長のあいさつ、同会の発展に寄与された方々への感謝状の贈呈、清水町長を初めとする来賓の祝辞と続き、式典を終了しました。

式典終了後、会員製作のリフォーム作品の発表会を行い、すばらしい出来ばえに多数の方が感嘆していました。

午後は、大妻女子大学教授、金井肇先生による「消費者教育と金銭教育」についての記念講演があり、参加者たちは熱心にメモをとっていました。

ご寄付

社会福祉協議会寄付者

金3千430円　戸崎　康昭様

金5千円（2回）須藤・館野様

金3万2千130円（3回）
壬生町文化協会様

金1千円（3回）刻字彫一同様

金3千円（3回）日光彫一同様

金3千円（5回）
陶芸クラブ一同様

金1万円（4回）壬生町婦人会・壬生地区配食サービスグループ様

金1万円（3回）
トータルアーチスト様

金3千円　㈱斉藤食品様

金3千円（5回）
壬生町母子寡婦福祉会様

金5千円（2回）
両毛ヤクルト販売㈱様

金5千500円墨絵教室一同様

金3万円（8回）
壬生町老人クラブ連合会様

金3千850円　健康ふくしまつり刃物研き協力者一同様

金1万円（4回）南犬飼地区配食サービスグループ様

金1万円（8回）ボランティアグループ虹の会様

金3千485円（20回）
渡辺　寅八様

金5万9千465円（4回）
㈲アップル様

金3千488円（3回）
壬生町民生委員協議会様

芸文

文化協会文芸部選

短歌（文化祭高点歌）

ごつごつの百姓の手を洗ひけり
明日は街に出て人と会ふべく
和久井　香

亡き父が天秤棒にと植えたる木
薪にもなれずもてあましゐる
鈴木　文二

早苗植え草花植えて心満つ
大地をわれのキャンバスとして
荒川　和子

幼児をさとすが如く母を看る
やつれし妻の姿いとほし
山田　良次

俳句（文化祭高点句）

窯を出て壺晩秋の色となる
山木八重子

運動会ころびて拍子もらひけり
神林　文恵

木犀や無口の人が話しだす
伊沢　克明

鐘桜の蕚の反りやいわし雲
鈴木　茂弥

ご利用ください町の福祉事業

ねたきり老人へ紙おむつ給付

町内に住む満65歳以上の方で6か月以上ねたきりの状態にあるか、または痴呆のため常時紙おむつを使用している方を対象に、1か月につき1人70枚を給付しています（ただし、施設入所者及び病院入院の方は除く）。

重度心身障害者タクシー料金助成

電車、バス等の交通機関を利用することが困難な重度心身障害者に対し、通院などのためにタクシーを利用する場合に、その料金の一部を町が助成しています。

対象者は、町内に住む身体障害者手帳を受けている1級または2級該当者。児童相談所で療育手帳を受けていてA1・A2と判定された方。

助成額は、乗車1回につき中型タクシー基本料金相当額。助成券は、1人1か月につき4枚給付しています。

☆くわしいことは、役場福祉課にお問い合せください。

JLC会員募集中！
いっしょに活動しませんか

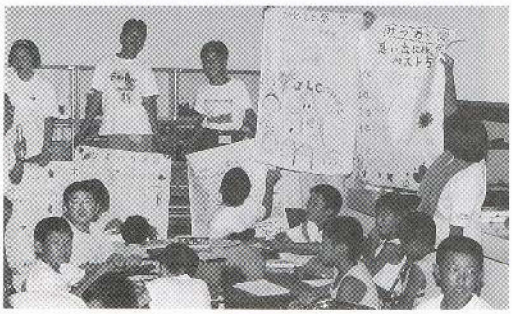
ジュニアリーダースクラブ（JLC）は、ボランティア活動を通してお互いの社会参加意識を高めていく高校生のグループです。

私たちは、町の事業や子供会活動のお手伝いをしています。特に、キャンプ・レクリエーションなどの野外活動や宿泊研修では、子どもたちといっしょに遊んだり、ときには良きお兄さん、お姉さんとして生活指導もしています。また、ふるさとまつりに参加して、フランクフルトなどの模擬店を出すといった活動もしています。

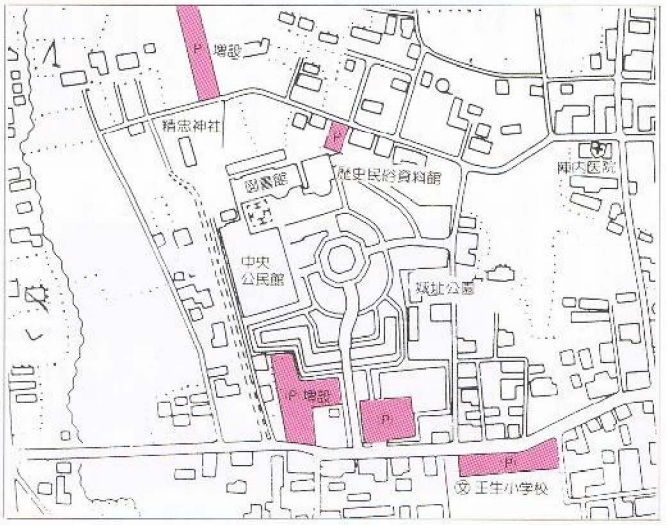
千生町JLCは、子どもが好きでボランティア活動に興味がある方の参加をお待ちしています。ご連絡ください。

◎対　象　高校1～2年生の健康な男女

◎連絡先　町社会教育課（☎(82)0934）



中央公民館駐車場を2か所増設しました



車でご利用のみなさんへ

町では、千生中央公民館を利用される方の便宜を図るため、千生中央公民館の南側と精忠神社北側の2か所に駐車場を増設しました。

千生中央公民館、図書館、歴史民俗資料館及び城址公園へ車でおこしになる方は、必ず上図の駐車場を利用されるようお願いします。

11月 青少年健全育成強調月間

地域社会の一員としての
青少年の自覚と責任を育てよう

12月の納税等

- 固定資産税　（3期）
- 都市計画税　（3期）
- 国民健康保険税（6期）
- 国民年金　（9期）

（納期限12月25日）

納期限間際には、納付窓口が大変混み合います。早めに納付しましょう。

まちのうごき

11月1日現在

総人口	40,058人	（△30）
男	19,808人	（△20）
女	20,250人	（△10）
世帯数	11,958世帯	（+2）

（　）内は前月比